

播磨町の子どもは播磨町民の手で育てましょう

▶問い合わせ 学校教育グループ ☎079(435)0545



▲リサイクルの学習として、ボランティアさんから紙すきの方法を教わる児童



▶体を使って遊ぶ楽しさをクロリティ競技を通じて伝える活動

学校支援地域本部事業が始まりました

保護者・地域住民・各種の専門家などが、ボランティアとして学校を支えていくとする事業が、学校支援地域本部事業です。播磨町ではすでに多くのボランティアの方々から学校づくりに協力していただいておりますが、地域や保護者の力を組織化し、学校を支えることを通じて地域の教育力を再構築することをねらいとしています。また同時に、教員の負担を軽減して子どもと向き合う時間を増やすという、いわば一石二鳥をねらった文部科学省の施策です。

そこで、播磨町の地域コーディネーターである木戸攻さんに、学校支援地域本部事業についてお尋ねしました。

Q. 学校支援地域本部事業は、全く新しい事業なのでしょうか

A. 事業自体は新しいのですが、これまでも播磨町では「いきいき学校応援事業」などで、多くの地域の方々のお世話になりました。それをより発展させ、地域ぐるみで学校を支援していくとするものです。

Q. どのような支援がありますか

A. まず学習支援活動です。社会科で昔の様子を教えたり、総合学習で地域の人のもっている知識や技術を伝えたりすることが考えられます。また社会・理科や英語など、教科の学習に参加することも考えられます。

Q. それ以外にもありますか

A. 今もたくさん地域の人たちに見守ってもらっていますが、登下校の安全確保があります。それから造園や電気といった学校の環境整備や学校・地域との合同行事の開催なども考えられます。

Q. 学校の仕事を教員だけでするのはなく、地域全体で学校を支えるということですね

A. ええ、そうすると、教師も子どもと向き合える時間が増えますし、地域の人で子どもを育てようという気運も高まってくると思います。

Q. お話を聞くと、いくつかの点について、何か問題点はありませんか

A. まず1点目は、地域で必要な学校支援ボランティアが確保できるところかどうかです。2点目に体制の整備です。そして3点目が、ボランティアが単なる学校の下請け組織にならないように、当事者意識を育てていかなければならないということです。

Q. たくさん登録があるということですね

A. 登録については、下記に示しています。皆さんの登録をお待ちしております。

学校支援ボランティアの登録

●活動分野

- (1) 教育活動支援
 - ・ 社会科における経験談や理科における植物採集など教科関係
 - ・ 木工や調理、縫製、読み聞かせ、昔の遊びなど総合関係
 - ・ 器械運動や球技、水泳など運動関係
 - ・ 楽器演奏など音楽関係
 - ・ その他、得意分野での支援
- (2) 環境整備支援
 - ・ 図書室の整備や本の修理、ラン配線、電気修理など屋内環境づくり
 - ・ 花壇作りや植木の剪定、学習園の管理など屋外環境づくり
 - ・ 塗装や雨漏り修繕などの施設整備
 - ・ その他、得意分野での支援
- (3) 学校安全支援
 - ・ 登下校や通学路での見守りやあいさつ運動

●保険、謝金などについて

- (1) ボランティア保険に加入します
- (2) 謝金、交通費などの支給はありません

●応募資格などについて

- (1) 子どもの教育に関心があり、子どもが好きな方を募集します
- (2) 資格は必要ありません

●登録先・問い合わせ

登録用紙(播磨町教育委員会)において()に記入して提出してください

播磨町学校支援地域本部(播磨町第2庁舎 播磨町教育委員会 学校教育グループ内)

☎079(435)0545

☎079(437)4193



登下校する児童を見守る地域の方々

楽しかった修学旅行



▲神秘的な樹海にて…

播磨南中学校 3年生

中学校時代の一番の楽しい思い出となる修学旅行。3年生146人は2泊3日で関東方面へ出掛けてきました。初日は、午後からデイズニールランドで班行動でした。心配していた天気も何とかもって、いろいろなアトラクションやパレードを楽しみ、お土産もいっぱい買いました。さすがに2時間半待ちはしんどかったけれど「目的のために耐えること」を学びました。

2日目は、国会議事堂の見学からスタート。衆議院の本会議場の傍聴席に座って説明を聞きました。テレビのニュースで見たのと全く同じ(?)で感激。その後は、クラス別に浅草や築地、お台場、原宿などを観光して河口湖へ。最終日は青木ヶ原の樹海と火山洞窟の探検。鬼が住んでいたという伝説が残る洞窟で、光と音のない世界を体験しました。この3日間で仲間たちとつくった思い出は私たちの一生の宝物になると思います。

蛇口をさかのぼると… ～浄水場見学～



▲水の大切さを教えてもらいました

播磨西小学校 4年生

4年生は、6月に社会科の学習で、水がどこからくるのが学習しました。

水が出るころといえれば蛇口。学校にあるたくさんの蛇口を手分けして数えてみると、なんと20以上もあってびっくり！家でも調べてみて、水が自分たちにとって深く関わりがあることを改めて知りました。

そこで浄水場を見学している

ろいろ教えてもらいました。きれいで安全な水にして家まで送ってくれていることが分かって、水の大切さを実感できた一日でした。

お家の人と一緒に、楽しかったね



▲「足 いたいけど がんばるぞ!!」

播磨西幼稚園

今日は「親子体操・親子で作ろう」の日。お家の人とうれしそうに登園してきた子どもたち。普段、仕事で忙しいお父さんの姿もたくさん見られました。親子体操では、お家の人の中へ乗ったり、「高い」と肩車をしてもらったりして大喜び。たくさん体を動かして遊んだ後、3歳児はペットボトルでシヨウロを作りました。自分のシヨウロが出来上がる、早速「ピーマンに水あげる!」と喜んで水やりをしました。また、4歳児は竹ぼうき作り、5歳児は竹馬を家の人に手伝ってもらいながら作りました。



模様をつけたり色を塗ったりと自分だけの竹ぼうき作り、竹馬ができました。「足痛い」と言いながら何度も挑戦する姿が見られました。早く乗れるようになるといいね。

たのしいことがいっぱい!!



▲毎日楽しくすごしています

播磨幼稚園 年少児

入園当初は、「ママがいい」「おかあさん帰ったらいや」と泣き叫んでいた年少児も幼稚園の生活の流れが分かり、喜んで幼稚園に来るようになりました。今ではお友達の名前を呼んであいさつをしたり、自分の気持ちを相手に伝えたり出来るようになりました。

始めは数個しか組み合わせられなかったブロックも、今では複雑な組み合わせを考えて日々成長を遂げています。また、一人で遊ぶより大勢で遊ぶ方が楽しいことにも気が始め、「よせて」「ごいよ」「わたしも」「ぼくも」と、次々人数が増えることもあります。

また、「カメさんにパンをあげにいってきまーす」「砂場でお団子つくってきまーす」と、行動範囲もひろがり、一人ひとりがしたい遊びを楽しんでいます。笑顔がこぼれます。



環境体験事業が始まりました



▲三木山森林公園で、森の観察もしました

播磨南小学校 3年生

環境体験事業は、地域の自然に出掛けて行き、自然体験活動を通して環境の大切さを知り、命を大事にする心を育むことを目標にしています。本校では、5月上旬に姫路市木場の小赤壁海岸に出掛け、そこで海岸に生息する様々な生き物の観察・採集をしました。図鑑を片手にボランティアの方の支援を受けながら、名前を調べたり、触ったりしました。海岸に落ちていたゴミもみんなの手で拾い集めました。

5月下旬には、キリンビアパーク神戸のピオトープ観察に出掛けました。ピオトープに児童たちの手でトラップを設置し、採集した魚の分類観察をしました。全部で600匹余りのモツゴやタナゴが採集でき、児童たちは驚きの声をあげていました。川や池が汚れるとこれらの魚がすめなくなると聞いて、「川や池にごみを捨てたらあかんね」と子どもたちは自然を大切にしようという思いを強くしました。6月下旬には三木山森林公園へ行きネイチャーゲームをして楽しく活動しました。

輝く子ども、すくすく育て



▲在宅児対象の「親子ふれあい体操」

キューピット保育園

園庭の木々も緑に染まりさわやかな5月が訪れました。キューピット保育園では本年度4月より、在宅0〜2歳児を対象に親子で一緒に遊んだり、体験活動を通して子どもだけでなく親育ちの機会をつくるための乳幼児子育て応援事業を開始しました。具体的な活動としては、親子ふれあい体操、絵本の読み聞かせ、簡単な折り紙遊び、誰でも簡単に出来る気軽に参加できる遊びのプログラムを用意しました。今日のメニューは親子のふれあい体操です。ごきげんな顔でベビーカーに乗って登園してくる子どもたち、ふれあい体操教室で何が始まるのだろうとキョロキョロとしつつ、音楽が鳴ると手をたたいたり体を左右にふりふり楽しく動きながらしっかりお母さんの胸に抱っこされ、うれしそうにほほ笑む子どもたちの姿が見られました。在宅児をお持ちの方、私たちと一緒に楽しく子育てについてお話しませんか?